

愛知県議会議員

桜井 ひでき

現場の声を
県政に!

県政レポート

2021年4月
発行: 桜井ひでき事務所

vol. 09



message

人類がコロナに打ち勝つ1年に!

令和3年度が始まりました。新型コロナと言う未知のウイルスに翻弄された令和2年度。感染症による影響がこれほど長引くとは誰も想像していませんでしたが、感染症の収束に希望の光も見えてきました。医療従事者等から優先接種が始まったワクチンの接種です。国民全員が無料接種となり、発症を予防することにより集団免疫を得ることが出来ます。ワクチン接種をした上でも油断することなく感染予防対策のさらなる継続が重要となりますが、この一年間で得た貴重な経験を活かし、諦めることなく、もうひと頑張りしましょう!

2026年開催アジア競技大会
ロゴ入りジャンパーでPRTOPICS
1

愛知県議会 2月定例議会

令和3年度予算の議案質疑をおこないました

それぞれの委員会に付託する前に、主に当初予算に関する質疑をする機会をいただき、2つのテーマで質問をさせていただきました。



感染対策のためマスク着用

テーマ1 男女共同参画社会の推進

Q モノづくり分野における女性管理職の登用についての県の認識は? また、今後、女性の声や現場の声をどう反映していくのか?

答弁

女性管理職の占める割合は、製造業で低い状況であり、モノづくり企業での女性の活躍促進は非常に重要である。今後、人事担当者等で構成される研究会や調査等で特有の課題を明らかにして進めていく。

桜井の意見!

モノづくり企業における女性管理職登用については、まずは実態を把握して進めるべき!

テーマ2 名古屋高速道路料金の改定

Q 高速道路建設費を利用料金でまかない、返済後は無料にと言われていた「償還主義」は今後、老朽化への対応など現実的ではなく、恒久有料化する代わりに現状の利用料金を値下げする議論を進めるべきでは?

答弁

愛知県においては道路公社が、財源を確保しながら知多横断道路・衣浦トンネル・猿投グリーンロード等を整備したことから今後も償還主義をベースに有効活用していく。

桜井の意見!

コロナ禍で苦しんでいる中、公共料金の位置づけである高速道路料金値下げについては不可能ではない!



答弁する建設局長

※翌日の新聞報道で

「高速道路永久有料化 国が本格検討開始」と償還主義に向けた廃止の検討が報じられました。

令和3年2月定例議会 感染症を克服し、今後の成長の芽をしっかりと育てる議会を開会！

代表質問

2月定例議会が2月19日（金）～3月25日（木）までの会期で開催され、自由民主党・新政あいち・公明党の3会派が代表質問をおこない、新政あいち県議団からは、団長である谷口知美議員（昭和区選出：4期）が登壇し、県政諸課題について県の考えを質しました。



質問1 行財政運営について

Q 新型コロナウイルス感染症の打撃は、まだこれから露見し、さまざまな支援が必要になることが想定される中、来年度の県税収入について、どのような見通しなのか？ また、今後の行財政運営にどのように取り組んでいかれるのか伺う。

大村知事 答弁 来年度の県税収入は、新型コロナウイルス感染症の影響が本格的に現れ、本年度当初予算から1,137億円下回る1兆532億円を計上。また、特別法人事業譲与税などの地方譲与税と合わせると**1,618億円の減収となり、当初予算としては、過去3番目の大幅な減収となる**。今後は、「あいち行革プラン2020」を通じて、一層の人財力の強化を図り、効率的・効果的な行政運営を行っていくとともに、**通常の県債の実質的な残高の維持・抑制や、基金残高の確保など、中期的な視点に立った規律ある財政運営を徹底し、一層の財政健全化を進めていく。**



代表質問する谷口議員

質問2 コロナ禍における支援について

Q ポストコロナを見据えながら地域の医療提供体制を確保するため、コロナ禍の医療機関支援と雇用シェアなどの雇用継続支援、離職した非正規雇用労働者や就職できなかった新規学卒者への就労支援をどのように進めていくか伺う。



答弁する大村知事

大村知事 答弁 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れていただいた医療機関には、空床確保や設備整備の補助金に加え、本県独自で、患者1人あたり100万円から400万円の応援金の交付を継続。また、**新型コロナウイルス感染症から回復しても、引き続き入院が必要な患者を受け入れる後方医療機関に対して、新たな補助制度を創設**。次に雇用継続については、雇用過剰となっている従業員を、**在籍したまま一時的に人手不足の企業へ出向させる取組が注目を集めていることから、県としても、そうした取組を円滑に進めるためのプラットフォームを新たに立ち上げ、情報共有や連携強化を図る**。離職者に対しては、女性や若者、外国人それぞれの専門相談窓口において、**キャリアコンサルタントによる就労相談やハローワークと連携した職業紹介などの支援を実施する。**

質問3 少人数学級について

Q 少人数学級の推進にあたっての課題に対し、どのように取り組んでいかれるのか伺う。

教育長 答弁 今後、**少人数学級を順次拡大していくためには、計画的に教員の採用を進めていくことが必要**。このため、少人数学級の拡大を見据え、退職見込者数や児童生徒数の増減に伴う教員の過不足数などを考慮しながら、確保が困難となっている**常勤講師の数を減らすことも念頭に置いて、積極的に正規教員の確保に努めていく**。また、優秀な教員を数多く採用するためには、本県の教員採用選考試験をより多くの方に受験していただくために、**筆記試験を一次試験に集約するなど、受験者の負担を軽減した新たな選考試験を令和3年度から実施していく**。さらに一部の学校では、教室不足が生じることも想定され、県としては、市町村が国の補助制度を活用して、**校舎の増築などの施設整備を計画的に実施できるよう、国に働きかけ、教室不足に対応していく。**



答弁する教育長

この2月議会に上程された議案は、国の補正予算への対応や新型コロナウイルス感染症のための補正予算、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の制定他・一部改正等99議案を可決し閉会しました。

令和3年度 予算概要

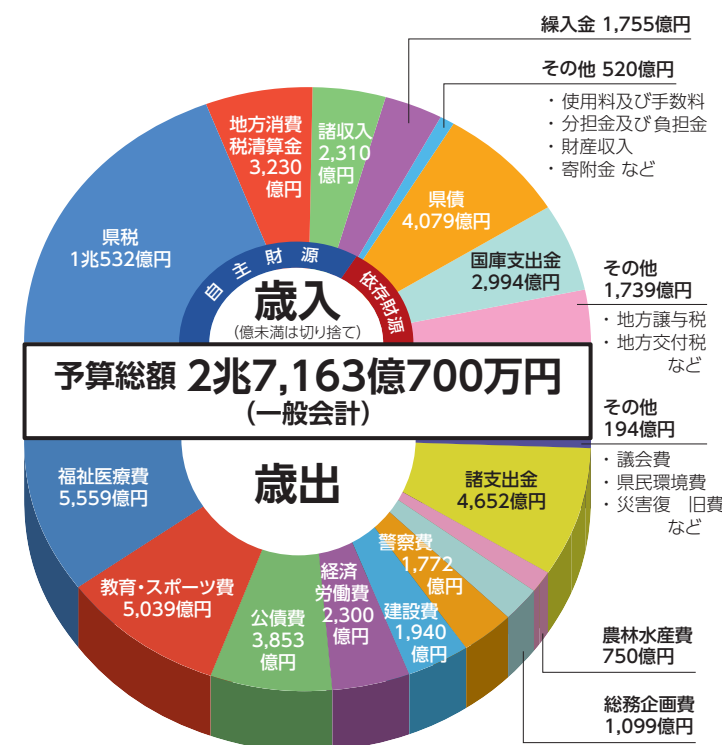
令和3年度 県予算のポイント

歳入 新型コロナウイルス感染症の税収への影響は、過去3番目の減収幅

感染症による税収への影響が本格的に現れ、企業収益の悪化により法人二税は684億円の減、地方消費税は228億円の減、個人県民税は144億円の減となる。また、法人事業税の一部を国税化し国から譲与を受ける特別法人事業譲与税など、地方譲与税は、全国的な企業収益の悪化により481億円の減が見込まれ、県税と地方譲与税合計で1,618億円の大幅減となる。

歳出 感染症の克服に全力で取組むとともにウィズコロナ・アフターコロナを見据えた成長戦略のための予算を計上

感染症患者を受け入れる医療機関の病床確保費用や中等症患者を集中的に受け入れる「県立愛知病院」運営費など引き続きの対応に加え、県民の皆様の安心・安全につながる社会基盤整備やジブリパークの整備など将来を見据え推進。本県は、厳しい財政運営が続いているが、非常時に備え、一定の財政調整基金を確保した。



令和3年度の主な取組

コロナ対策に加え、令和3年度の事業の一部を紹介します。

■ 名古屋駅スーパーターミナル化推進

リニア開業を見据え、名古屋駅のスーパーターミナル化とリニアインバクトの広域化に向けた取組を推進します。



ターミナルスクエアイメージ図
(中央コンコースから至東山線中改札階段等方向)

■ 新体育館の整備を推進

設計・建設及び維持管理・運営を一体として実施する「BTコンセッション方式」により、民間のノウハウを最大限活用しながら、2025年夏のオープンを目指します。



外観イメージ図

■ スマート農業を推進

ICT等の先端技術について現地実証等を行うとともに、研究機関との連携のための環境を整備することで、スマート農業の生産現場への迅速な普及拡大を図ります。



農業用ドローン

■ 愛知芸術大学美術学部メディア映像専攻校舎を整備

2022年4月のメディア映像専攻の新設に向けて、新校舎（映像スタジオ棟）の建設工事や既存施設（旧デザイン棟、基礎研究棟）の改修工事を実施します。



イメージ図

■ 小学校第3学年に少人数学級を拡充

少人数によるきめ細かな指導体制を構築し、子どもたちの安心・安全な学びを保障するために、小学校第1学年、小学校第2学年及び中学校第1学年で実施している35人学級を小学校第3学年に拡充します。

豊田上郷スマートインターチェンジが開通!

平成16年に日本初のスマートIC社会実験を実施し、平成18年から本格導入に向けた検討がなされました。その後、平成25年6月11日に国土交通省の連結許可を受けて、事業着手し、令和3年3月27日(土)開通しました。

開通により期待される効果

1 自動車関連を中心とする企業活動・物流の効率化

- ・ 輸送時間の短縮
- ・ 輸送経路の効率化による物流コストの削減
- ・ 隣接IC周辺道路の交通分散

2 高速道路利便性向上による救急医療体制の充実

- ・ 輸送時間短縮による救命率の向上

設置箇所

愛知県豊田市
E1東名高速道路 豊田上郷SA(豊田JCT~豊田IC)
豊田JCT~豊田上郷スマートIC間 1.7km
豊田上郷スマートIC~豊田IC間 5.0km

一言!

出入口が増えることにより、渋滞緩和の効果あり。今後は周辺サービスエリアの整備が予定されています。



※上郷SAの名称は、スマートICの開通に合わせて豊田上郷SAに変更になります。

日々の活動

1/12(火)

私鉄愛知県協議会との懇談会を開催

コロナ禍により鉄道事業者・バス(含む観光バス)の現状を伺い政策提言に繋げました。



1/12(火)~15(金)

新政あいち重点事業等調査研究会

各部局から重点取組をヒアリングして予算質疑に臨みました。



1/31(日)

第76回 国民体育大会表彰式に出席

愛知国体の表彰式に出席。万全の感染症対策を講じての大会でした。



2/16(火)

豊田警察署高岡交番が完成

老朽化等による建替えてコロナ対策や交番襲撃などの犯罪にも対応が講じられています。



3/1(月)

新型MIRAI出発式を開催!

愛知県では、エネルギーの脱炭素化を目指し、水素社会の実現に向けて燃料電池自動車(FCV)の普及加速を図ります。



3/24(水)

豊田・岡崎地区研究開発施設用地引き渡し式

愛知県における自動車産業の更なる発展に向けた事業が終了しました!



ホームページを是非ご覧ください ▶ <https://sakurai-hideki.com/>

発行: 桜井ひでき事務所

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555 FAX 0565-29-0274

